



ラスカー君

カラス カン ナ ガワ 鳥・神流川だより



カンちゃん

国土交通省 高崎河川国道事務所

台風9号の猛威

第41号 H19.9.28

関東を直撃した台風9号は、9月5日の日中から7日朝にかけて県西部に大雨を降らし、土砂災害や浸水などの被害をもたらした。

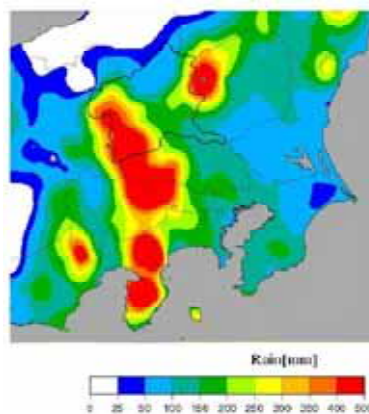
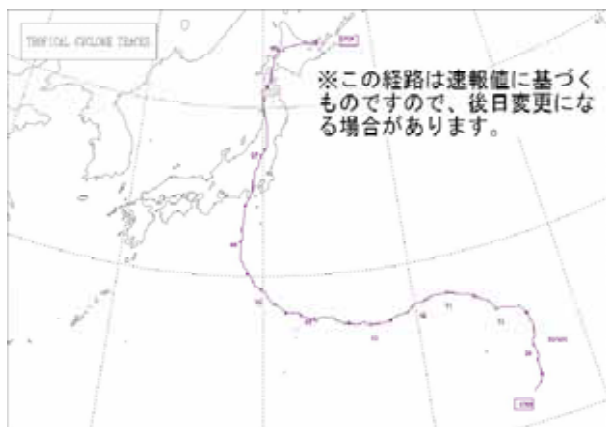


流水により佐野橋の橋桁がずれた。 ~ 群馬県高崎市上佐野 ~

高崎河川国道事務所管における河川災害の概要

鍋川山名水位観測所では台風9号による降雨の影響により水位が上昇し、はん濫危険水位の3.6mをおおきく上回る5.00mを記録した。

また、鳥川鍋川合流点では無堤箇所(築堤等の事業実施中)からの浸水被害約80,000㎡が確認された。その他、出水後の現地調査などにより、鳥川、神流川、鍋川の3河川、10箇所において被害が確認された。

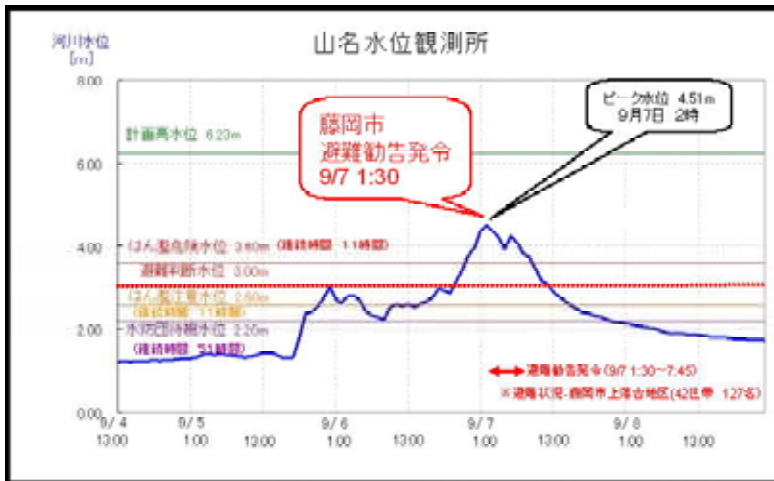
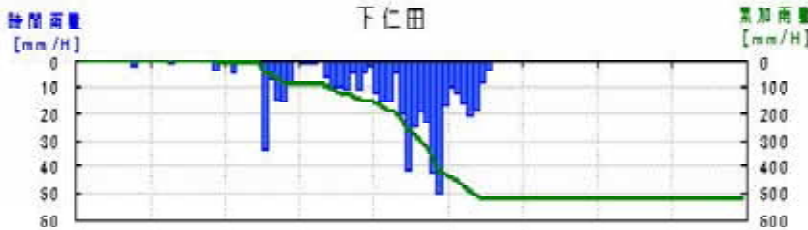


鎚川浸水対策事業箇所



自治体による防災対応状況

～ 藤岡市上落合地区に避難勧告発令～



山名水位観測所付近



(平常時)

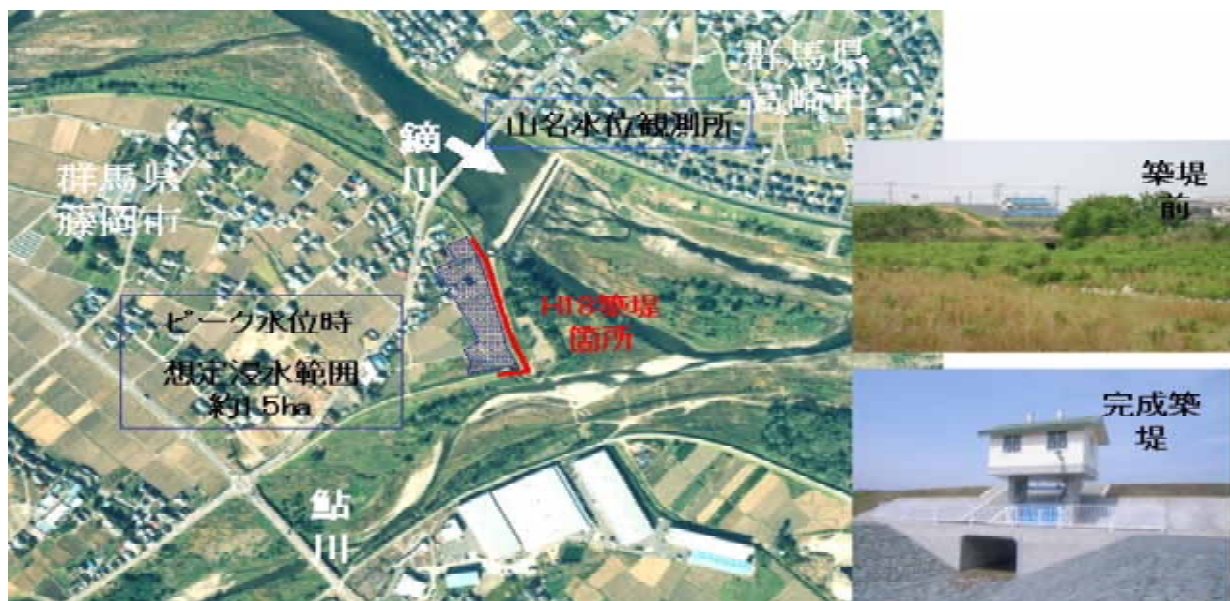


(洪水時)



鎚川における治水効果

利根川水系鎚川3.0km付近鮎川合流点（群馬県藤岡市上落合地先）では、河道改修により浸水被害1.5ha（想定）を防止。



鎚川における浸水被害

利根川水系鎚川左岸0.3km(群馬県高崎市阿久津地先)において、無堤箇所(築堤等の事業実施中)より浸水被害(約80,000㎡)が発生(家屋まで約450m、高低差0.5m)。



無堤箇所浸水状況

高崎市へ水防支援

鎚川左岸の山名地先で内水氾濫の恐れがあるため排水ポンプ車を派遣しました。

排水時間 9月7日(金) 4:00～10:00

総排水量 5,300m³

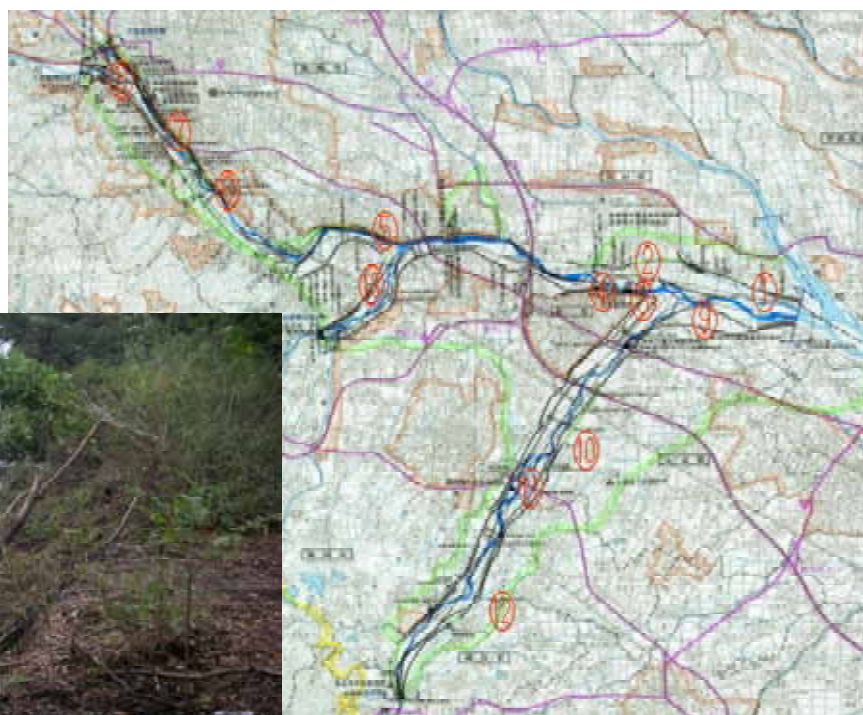
施設等被災状況

箇所番号	河川名	被害箇所 地先名	災害区分	
			種別	延長・数量
①	烏川	群馬県玉村町川井	河岸浸食	100m
②	烏川	群馬県玉村町角淵	河岸浸食	200m
③	烏川	群馬県高崎市新町	低水護岸	185m
④	烏川	群馬県藤岡市立石新田	低水護岸	280m
⑤	烏川	群馬県高崎市倉賀野	高水敷	フェンス損傷
⑥	烏川	群馬県高崎市上佐野	橋梁	流下物付着
⑦	烏川	群馬県高崎市龍見	河岸浸食	230m
⑧	烏川	群馬県高崎市八千代町	低水護岸	150m
⑨	神流川	埼玉県上里町金久保	低水護岸	320m
⑩	神流川	埼玉県上里町長浜	低水護岸	100m
⑪	神流川	群馬県藤岡市小林	低水護岸	200m
⑫	神流川	埼玉県神川市小浜	高水敷	遊歩道損傷
⑬	鍋川	群馬県高崎市木部町	低水護岸	700m

河岸浸食の状況



～ 群馬県玉村町川井～



～ 群馬県玉村町角淵～



～ 群馬県高崎市龍見～

低水護岸の被災状況



～ 群馬県高崎市新町～



～ 群馬県藤岡市立石新田～



～ 群馬県藤岡市小林～



～ 群馬県高崎市八千代町～



～ 埼玉県上里町金久保～



～ 埼玉県上里町長浜～



～ 群馬県高崎市木部町～

高水敷利用施設の被災状況



～ 埼玉県神川町小浜～



～ 群馬県高崎市倉賀野～



毎年7月は河川愛護月間です

水と緑の快適な河川空間を！



高崎市 7月1日 八千代橋～聖石橋会場

年齢層も幅広く16団体1,380名が参加しました。

収集したゴミ量は例年より少なめの2.5t。参加者数は多く、ゴミ量は少なくと、河川愛護活動の浸透を実感させる結果となりました。

お天気に恵まれ、皆で作業した後は、スッキリした緑地空間が広がりました。

ボクはゴミじゃ
ニヤーい！
捨てないでよ



玉村町 7月1日五料グラウンド ~

7月8日角淵グラウンド他5箇所会場

7会場で769名が参加しました。

玉村町の住民パワーはすごいです。

クリーン作戦の実施時間は、毎年各会場とも6時からです。

不法投棄が多いためか、タイヤや家電製品のような大型ゴミが相変わらず多いです。

ゴミ量は、袋使用分約653kg。





今年もクリーン作戦を実施しました。 ご協力いただいた皆様、本当にご苦労様でした。



高崎市新町支所 7月5日～6日

5日は新町第一小学校が実施し、6日は新町地区の職員はじめ、新町環境美化推進委員会や環境問題連絡協議会等が中心となり240名が参加しました。

収集したゴミ量は150kgでした。

神川町 7月16日神川ゆ～ゆ～ランド会場

台風4号が当日朝まで吹き荒れていて、「うちは雨でもやります。」と聞いていたものの、本当に実施できるのかとハラハラしていました。

開始時には風雨がピタリと治まり、水溜まりの残る会場に、300名が集まりました。長靴姿が勇ましいです。

この日のゴミは470kg集まりました。



上里町 7月7日鳥神流川総合運動公園(宮多目的広場)～7月28日忍保パブリック公園会場

7日は上里サッカークラブが、28日は少年野球連盟が中心になり、180名参加しました。

「大きなゴミ見～っけ！」「バットも見～っけ！」「スゲー。見せて見せて。」元気な声が飛び交います。

収集したゴミ量は、少なめの90kgでした。

三波石峡で文化財指定50周年記念式典が開催される

神流川の下久保ダムから数百m下流にある三波石峡は、昭和32年7月3日に国の文化財である名勝及び天然記念物に指定されてから50年が経ちました。

かつては、観光客が大型バスで見物に訪れ、三波石峡専門のガイドが存在するなど、周辺の冬桜や温泉とともに隆盛を極めた由緒ある観光地でした。しかし、昭和43年に、それまでなかった下久保ダムが上流に完成すると、河川には水の流れない時代が長く続いたため、本来は薄緑に白い脈が入ったきれいな三波石は色が黒ずんで、風光明媚な景色が失われていました。

この三波石峡に、清流を取り戻したいという地元の皆様の熱い声に押され、国土交通省と群馬県企業局は共同事業で、平成13年7月から毎秒0.323立方メートルの河川維持用水の放流を開始しました。その後、水資源機構・下久保ダム管理所が行ったダム上流の貯砂ダムの砂を下流に流す土砂掃流試験で、三波石峡の岩が磨かれるという成果が現れ、昔に近い景観を取り戻すことができました。

今回のイベントは、三波石峡の存在する地元の有志の方々が、山や木、川や水といった自然の恵みが資源であるという考えから、環境改善が図られた三波石峡を始め神流湖などを中心に据えた町づくりの出発点にしようとするものです。地元のNPOの呼びかけにより、官・民の境なく、多くの諸団体が実行委員会を構成し、8月4日・5日の両日にわたって多彩な催しが開かれました。

高崎河川国道事務所では、平成12年度までに実施した維持放流設備を設置する水環境改善事業をパネルで紹介し、河川パトロールカーのペーパークラフトをPRグッズとして配布しました。



(式展の挨拶をする堀口実行委員長)



(最近の山波石峡)